

福祉分野研究セミナーを実施しました

福祉分野の就職に興味がある2・3年生の学生を対象とした「福祉分野研究セミナー」を11月14日(木)に開催し、57名の学生が参加しました。実際の社会福祉法人の人事担当者をお招きし、人事がみているポイントをリアルに解説いただきました。また、福祉施設で働く日本福祉大学の卒業生から、ご自身の就活体験と現在の仕事内容、やりがいについてお伝えいただきました。

－当日の内容－

- 福祉分野の各分野の特徴や仕事内容 / ○採用したいと思う学生の特徴
- 人事が見ているポイント（書類、面接、筆記、マナー等から） / ○本学卒業生の就活体験談

－参加者の感想－

- ・実習が終わり、就活や国試対策を本格的に始めなければいけない時期で自分の中で焦りが大きく、何から始めたら良いか不安であったが、就活生の見られ方や就活への姿勢のお話、先輩方の体験談や重要ポイントのお話を通して自分が今何をすべきかをはっきりさせることができた。
- ・就活にあたって、働く上で自分の軸になるものを明確にしておくことが必要だと感じた。また、オンラインでの面接だと現地に行かなくて楽だと思っていたが、職場の雰囲気や利用者との関係性など、実際に見てみないと分からないことが多くあることが分かった。
- ・就活に対しての姿勢や、どのように就職場所を決めたらいいかなど詳しく知ることができた。決めるためにはまず自分の道を決めて、インターンシップなどに参加して就活していきたい。
- ・今までにあった企業説明のような話ではなく、福祉分野についてより詳しく学べる時間だったため、時間があっという間に感じるほど興味深い話ばかりで参加して良かったと感じた。

内定者インタビュー

スポーツ科学部 4年生 Yさん 内定先：(株)バンダイナムコアミューズメント

Q：就職先の選考プロセスについて教えてください。

A：3年次8月に就職先のインターンシップに申込み、12月に参加をしました。インターンシップ後に早期選考の案内が届き、3年次1月から選考がスタートし、3月末に内々定をいただきました。

Q：就活の準備について、いつから、どんな対策をしていましたか？

A：就活準備を始めたのは、3年次8月に就職先が開催するインターンシップへ申込みをした後からです。就職先の本選考ではSPI試験があることがわかったので、SPIの問題を知り慣れておくために、キャリア開発課で『対策本』をレンタルし、とりあえずやって慣れておくということをしました。また、就職先の先輩社員の方々から面接の傾向などを情報収集をし、アルバイト先の方には面接練習に何度も付き合ってくださいました。



Q：ずばり、就活準備でやっておいてよかったことを教えてください！

A：基本中の基本ですが、やはり自己分析と企業研究です。企業研究をする中で、就職先は人財育成に力を入れる会社だということがよくわかりました。そのため、面接では自分の人柄に注目されるのではと考え、自分の魅力を理解し伝えられるように、徹底的に自己分析を行いました。

Q：後輩へアドバイスをお願いします！

A：就活で最も大変だったことは、面接選考の際、周りが国立大学や東京の有名私大の学生ばかりだったことです。気にしなくてもいいと思っても、やはり不安でした。でも、自己分析をしっかりしていたことで、自分を信じて、自分の魅力を伝えることに集中できたことで、乗り越えることができました。また、就活は数をこなせばいいというものではないと思います。闇雲にエントリーするのではなく、自分が本当に受けたい業界や企業を選び抜いて受けていくことが、質の高い就活や、納得のいく就活に繋がるのではないかと思います。